

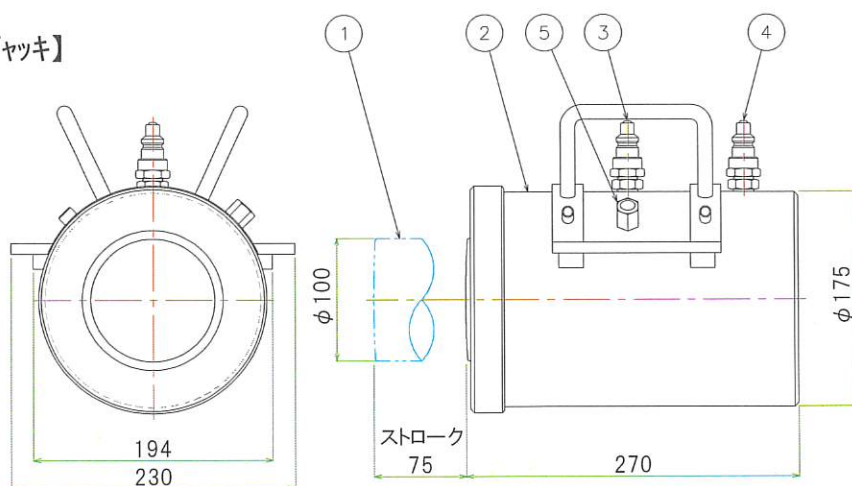
ニューキリンジャッキ取扱説明書 (KHJ-26Sと手動ポンプ)



光洋工業株式会社
東京都墨田区江東橋1-12-8
KDビル4F

1. 各部名称・仕様

【解体ジャッキ】

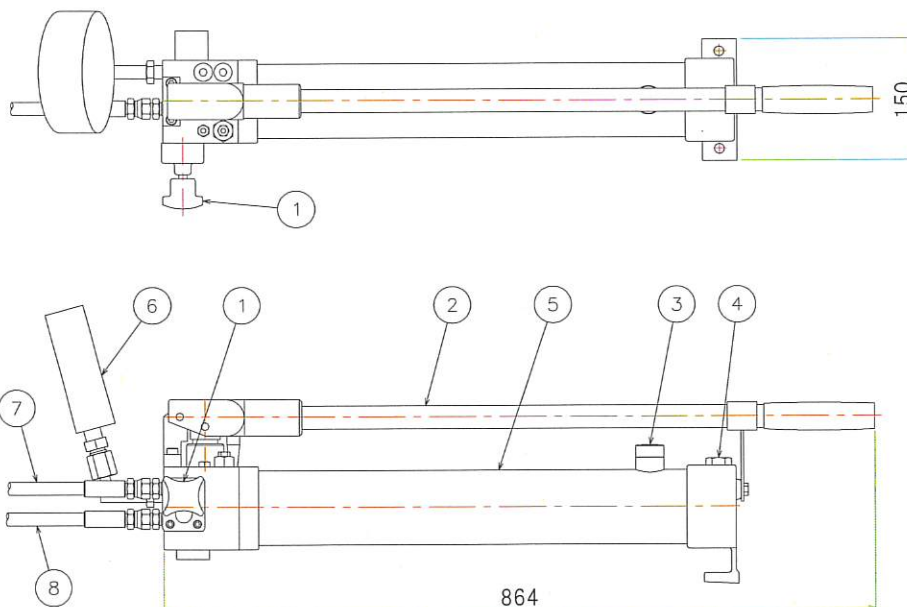


仕様

番号	名称
1	ピストン
2	シリンダー
3	戻し側カプラ
4	押し側カプラ
5	安全弁

型式	KHJ-26S
最大出力	2600 kN
最高使用圧力	98.6 MPa
受圧面積	263.7 cm ²
ストローク	65 mm
必要油量	約2ℓ
概略質量	40 kg

【手動ポンプ】

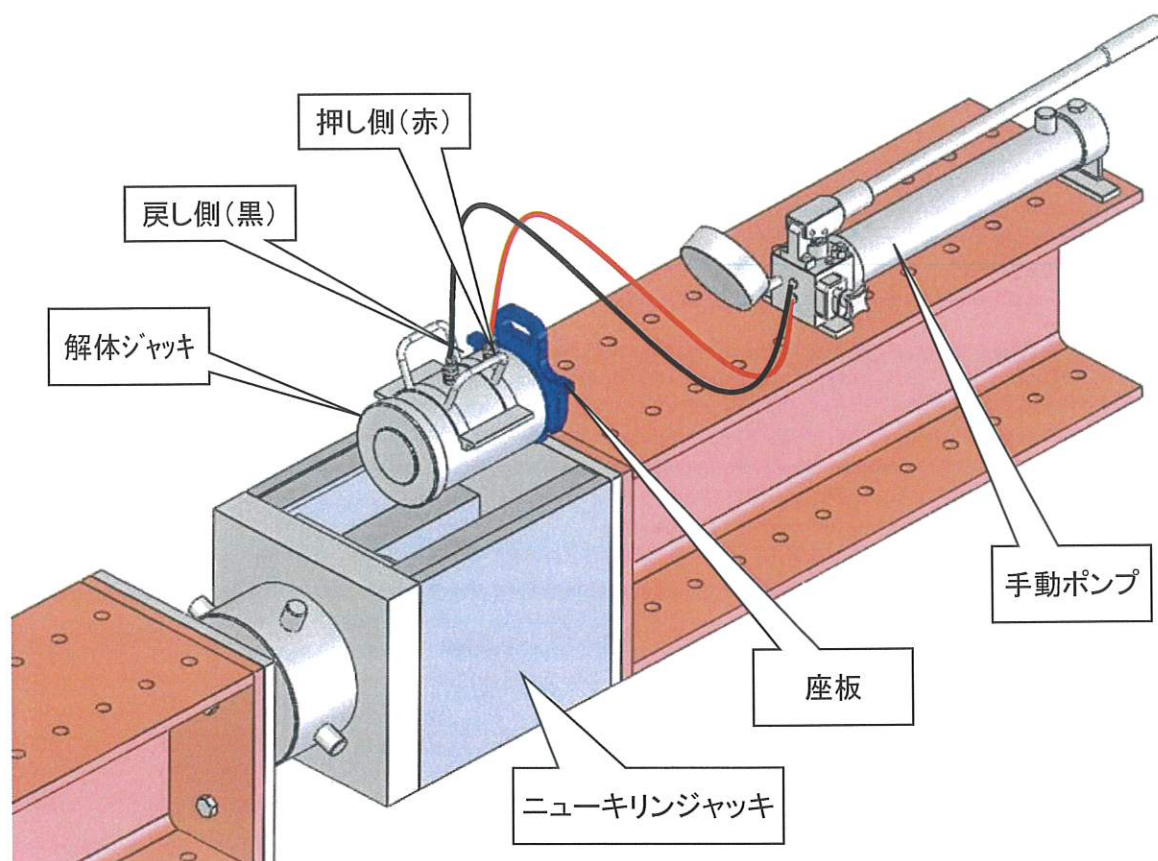


仕様

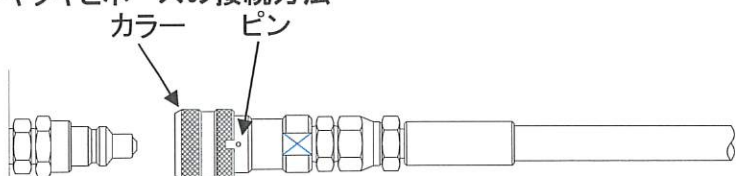
番号	名称
1	加・減圧バルブ
2	ハンドル
3	オイル給油口
4	オイルゲージ
5	オイルタンク
6	荷重計
7	押し側高圧ホース(赤)
8	戻し側高圧ホース(黒)

型式	KHP-26S
最高使用圧力	100 MPa
吐出量/ストローク	
有効油量	3.0ℓ
使用オイル	油圧作動油 ISO VG32~46
概略質量	23 kg

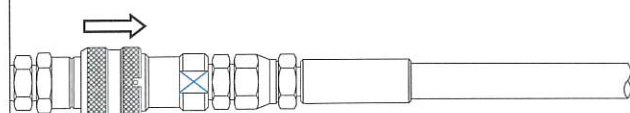
2. 接続方法



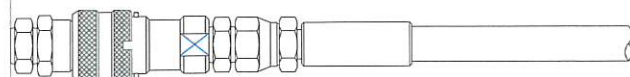
ジャッキとホースの接続方法



1. ホース側カプラーのカラー切欠きをピンに合わせる。



2. カラーを引張りながらジャッキ側のカプラーと接続する。



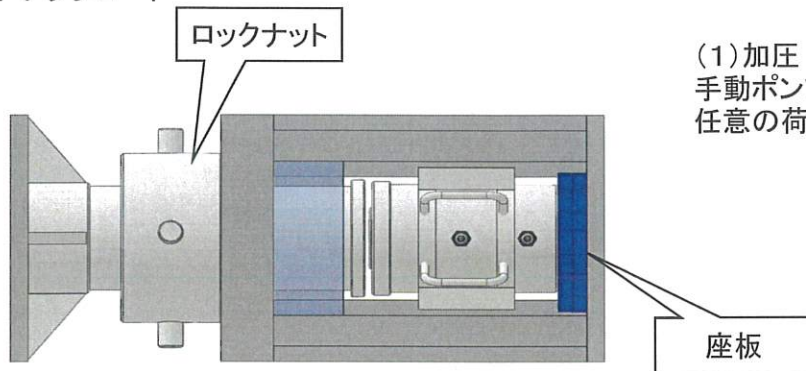
3. 接続後、カラーを回転させカラーが下がらないようにして下さい。

【注意事項】

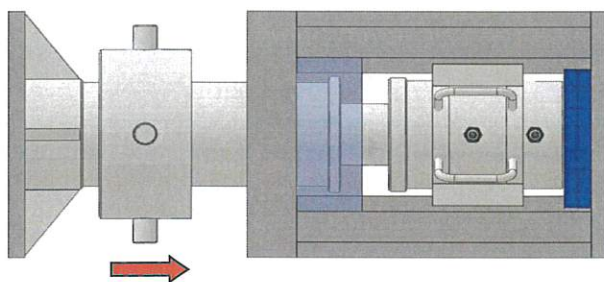
- ・ホースは必ず押し・戻し両方つないでください。
- ・夏場など気温が高い時は、ジャッキに内圧がかかりカプラーが接続しにくい場合があります。その場合はジャッキ側カプラーの先端にウエスなどを当てハンマーで軽くたたいて内圧を抜いて下さい。

3. 操作方法

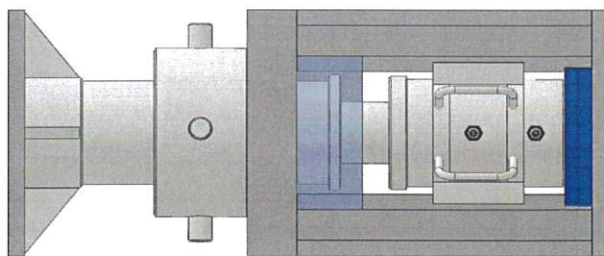
3. 1 プレロード



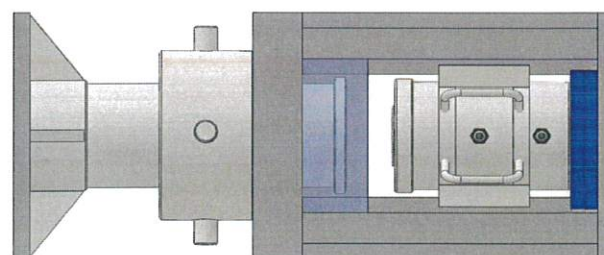
(1)加圧
手動ポンプのバルブを右回りに閉めて
任意の荷重まで加圧する。



(2)ロック
加圧後ニューキリンジャッキの
ロックナットを締める。



(3)減圧
ポンプのバルブをゆっくりと
開けて0 (kN)まで減圧する。



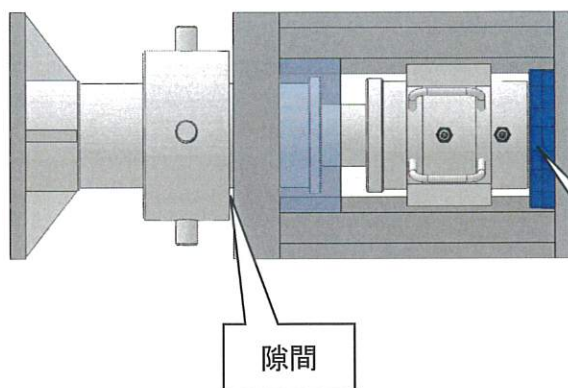
(4)ストローク戻し
手動ポンプのバルブを左回りに閉めて
解体ジャッキのピストンを戻す。

ピストンが戻りきった状態で加圧を
続けると安全弁からオイルが漏れます
のでご注意ください。

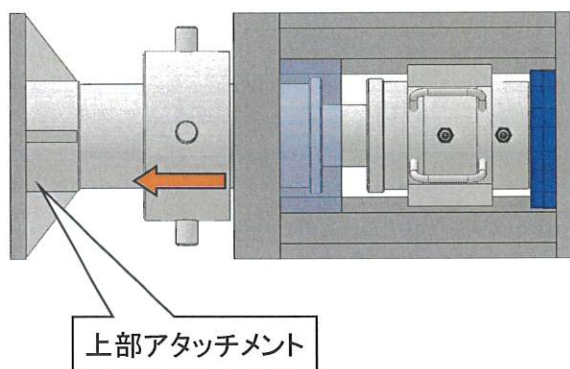
【注意事項】

- ・ホースは必ず押し・戻し両方つないでご使用ください。
- ・解体ジャッキのストロークは65mmです。それ以上ストロークを伸ばす場合は一度ロックナットを締めてピストンを戻した後、座板を入れて再度加圧して下さい。

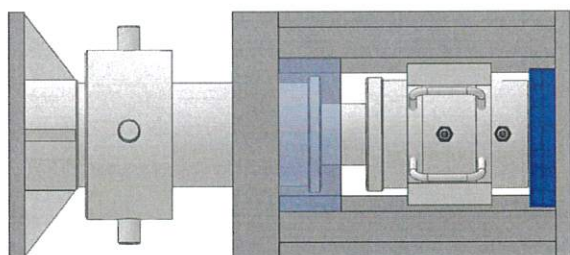
3. 2 解体



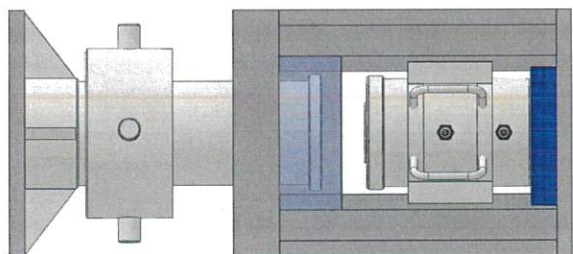
(1)加圧
手動ポンプのバルブを右回りに閉めて
本体とロックナットに隙間が出来るまで
加圧する。



(2)ロックナット解除
ロックナットを回して上部アタッチメント
方向に移動させる。



(3)減圧
ポンプのバルブをゆっくりと
開けて0 (kN)まで減圧する。



(4)ストローク戻し
手動ポンプのバルブを左回りに閉めて
解体ジャッキのピストンを戻す。

ピストンが戻りきった状態で加圧を
続けると安全弁からオイルが漏れます
のでご注意ください。

【注意事項】

- ・ホースは必ず押し・戻し両方つないでご使用ください。
- ・解体ジャッキのストロークは65mmです。ニューキリンジャッキのストロークがそれ以上伸びている場合は座板を入れて解体ジャッキの高さを調整して下さい。